

令和6年度 学校評価(管理者・事務現業等)

所属学部(管理者・事務現業等) n= 19 / 25 76.0
 回答者数 事務現業等数 %

◎とても思う ○少し思う ▲あまり思わない ×全く思わない

領域	No.	評価内容	◎	○	▲	×	無回答	回答者数 (◎○良好 ▲×要改善)		%表示 (◎○良好 ▲×要改善)		帯グラフ%表示 (良好: ■ 要改善: ■)
職務の遂行	1	校務の推進にあたって、情報の共有や関係部署と連携し、円滑に進めている。	6	12	1	0	0	18	1	95	5	
	2	予算の執行計画、手続き、会計処理等、関係部署と連携し、適切に行っている。	11	8	0	0	0	19	0	100	0	
	3	文書・報告・提出物について、速やかに周知・伝達・対応している。	9	9	1	0	0	18	1	95	5	
	4	提出文書などの作成・整理・保管等について、適切な処理を行っている。	10	9	0	0	0	19	0	100	0	
法令遵守	5	個人情報の保護や情報セキュリティは適正に実行している。	12	7	0	0	0	19	0	100	0	
	6	備品の購入や登録廃棄等について備品台帳の整備・保管等が適切に行われている。	11	8	0	0	0	19	0	100	0	
の専研 向門修 上性・	7	業務上の専門性(知識・技能)の向上に取り組んでいる。	6	13	0	0	0	19	0	100	0	
活教 動育	8	図書室は、幼児児童生徒が利用しやすいように、本の紹介や書架の整理、掲示等が工夫されている。	12	7	0	0	0	19	0	100	0	
接 遇	9	電話対応、来客者への接遇を適切に行っている。	8	11	0	0	0	19	0	100	0	
家 連 携 と の	10	文書の受け渡し・電話対応・保護者対応等を通して家庭との連携を図っている。	10	8	0	1	0	18	1	95	5	
働 き や す さ	11	同僚・管理者との良好な人間関係の構築ができています。	7	12	0	0	0	19	0	100	0	
	12	個人の裁量(ゆとり)ある時間の確保ができています。	7	10	2	0	0	17	2	89	11	
働 き が い	13	一人一人の児童生徒との信頼関係を深めることができています。	4	12	3	0	0	16	3	84	16	
	14	より専門性を発揮するための研修や教材研究等が充実している。	3	14	2	0	0	17	2	89	11	
心 身 の 健 康	15	心身の健康の確保と安全・快適な職場環境の形成ができています。	5	11	2	1	0	16	3	84	16	
給 学 食 校	16	保護者や担任、関係職員と連携して、幼児児童生徒の給食指導や提供、指導を行っている。	5	11	2	1	0	16	3	84	16	
管 理 健 康	17	保護者や担任、関係職員と連携して幼児児童生徒の健康教育や保健指導に取り組んでいる。	6	12	1	0	0	18	1	95	5	
安 全 管 理	18	学校内の危険箇所を把握して、安全業務に努めている。	7	12	0	0	0	19	0	100	0	
	19	安心・安全な教育活動のため、普段から危険予知を心掛け、施設・設備の点検・改善及び環境(校内美化)の維持に努めている。	8	11	0	0	0	19	0	100	0	
	20	校内の防災施設設備等の把握や、緊急時・災害時の対応について、幼児児童生徒の実態に即した訓練・対応を行っている。	8	11	0	0	0	19	0	100	0	
ス ク 運 行 ル バ	21	スクールバスの利用について、バス部・保護者・担任等で連携が図られている。	9	10	0	0	0	19	0	100	0	
	22	スクールバスの安全に留意した運行に向け、担任・保護者と運転手・介助員との連携が図られている。	10	9	0	0	0	19	0	100	0	

80%以上	①22項目中、17項目で90%以上の良好な評価であった。うち4項目が95%以上、13項目で100%の良好な評価を得ている。 ②「働きがい」「働きやすさ」「心身の健康」の回答では、No.12「働きやすさ」(個人の裁量ある時間の確保)、No.13「働きがい」(児童生徒との信頼関係)、No.14(専門性の発揮)、No.15「心身の健康」No.16「学校給食」の項目が84~89%となった。過大過密校のため業務量が多いことや、幼児児童生徒と直接関わる場面が限られることなどが考えられる。
80%未満	該当項目なし
その他 考察	①回答率は76%であった。(令和6年度は84%)。担当部署が多岐にわたることから答えにくい内容も含まれていたと考察する。 ②100%の良好な評価のうち、No.9「接遇」は、学校の玄関口である事務職員を始め、来客対応を含めた接遇意識の高さが窺える。 ③総じて全項目において良好な評価となった。次年度以降も取組を継続し、良好な評価の質を高めていきたい。